

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	新川児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	56
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目1番地1	敷地面積	581 m ²
	(新川小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新川児童クラブ、新川児童クラブ分館、新川児童クラブ増築				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成8 ~ 平成28年度	経過年数	6 ~ 26年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	451 m ²	うち借面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	113人	115人	127人	118人	指定管理(混合)		
施設コスト ^{*2} (R1~R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	7,552,503	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	744,811	
		県 費	-		①維持コスト	火災保険料	23,311
		その他	11,963		維持管理委託料	902,048	
		市費(一般財源)	25,386,990		敷地借上料	-	
	合 計		32,951,456	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	1,670,170		
				②運営コスト	人件費	27,533,533	
			光熱水費	881,980			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	2,865,773			
			小 計	31,281,286			
			合 計(①+②)	32,951,456			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	279,250 円/人		73,063 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
64,004 円/人		349 円/人					
特記事項							

*1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市管住宅は入居戸数で記載。

*2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

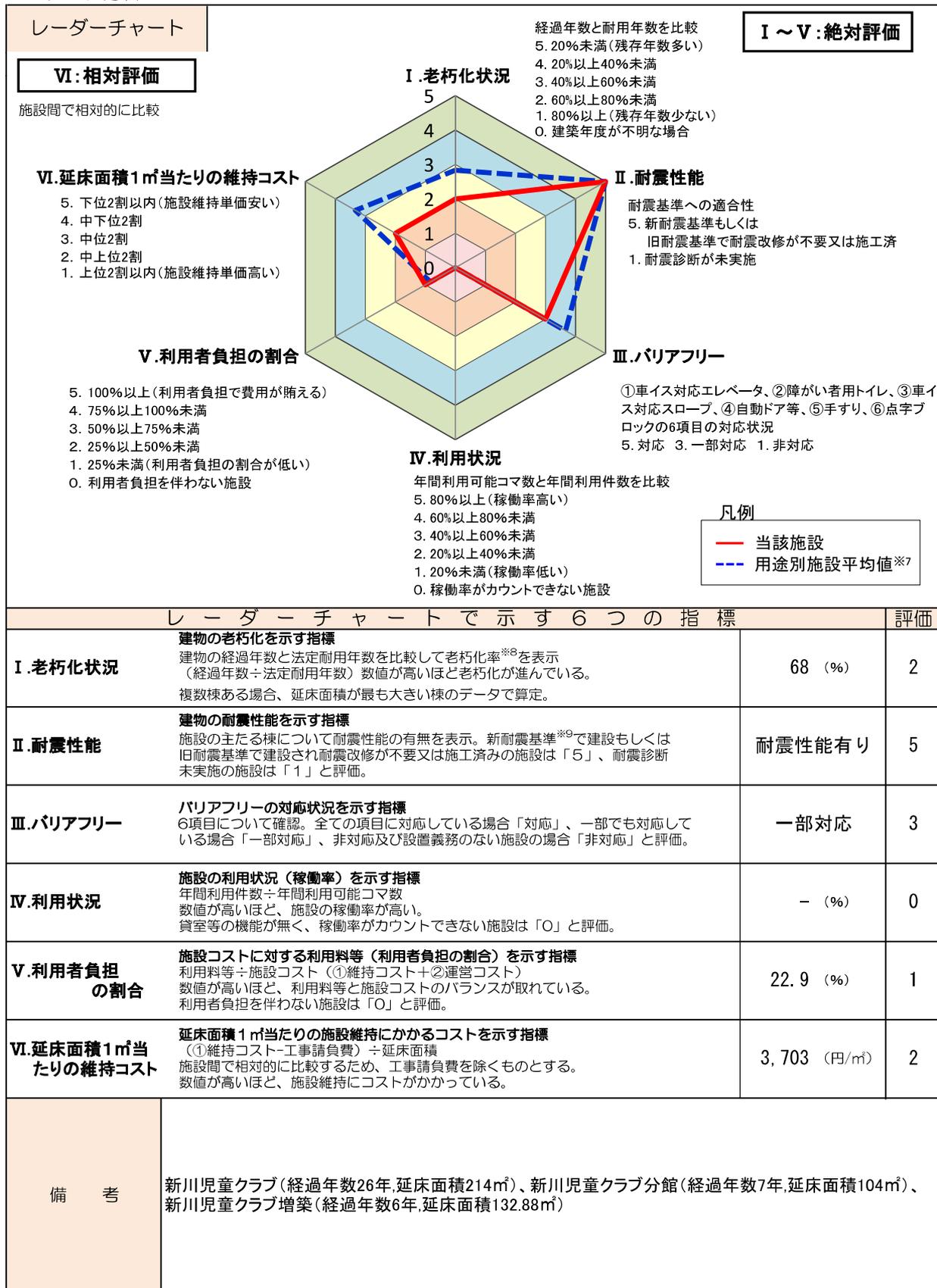
*3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

*4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

*5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

*6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	中央児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	57
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 向陽町3丁目19番地	敷地面積	631 m ²
	(中央小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

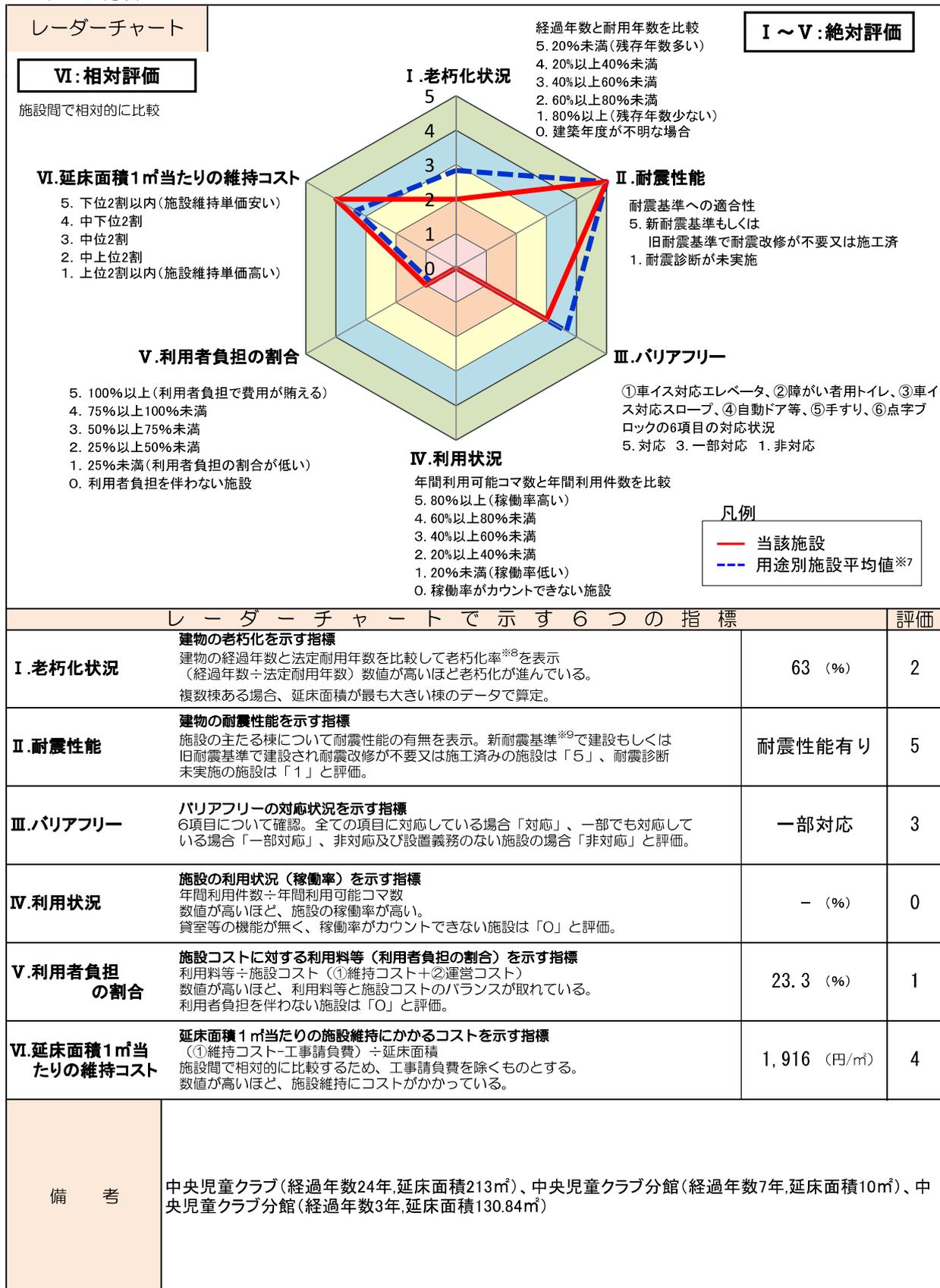
構成棟	中央児童クラブ、中央児童クラブ分館、中央児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成10～平成31年度	経過年数	3～24年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	354 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{※1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態	
	89人	88人	102人	93人	指定管理(混合)	
施設コスト ^{※2} (R1～R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)
	収 入	利用料等	4,603,337	支 出	人件費	-
		国費	-		修繕料	116,529
		県費	-		火災保険料	11,820
		その他	30,359		維持管理委託料	549,809
		市費(一般財源)	15,110,765		敷地借上料	-
	合計		19,744,461	工事請負費	-	
	施設外観			その他維持費	-	
				小計	678,158	
				②運営コスト	人件費	16,782,005
			光熱水費	537,577		
			その他委託料	-		
			その他運営費(事業費)	1,746,721		
			小計	19,066,303		
			合計(①+②)	19,744,461		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}			
	212,306円/人		55,775円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}			
49,498円/人		208円/人				
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。
 ※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。
 ※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数
 ※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積
 ※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数
 ※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	大浜児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	58
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 浜田町1丁目1番地	敷地面積	514 m ²
	(大浜小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

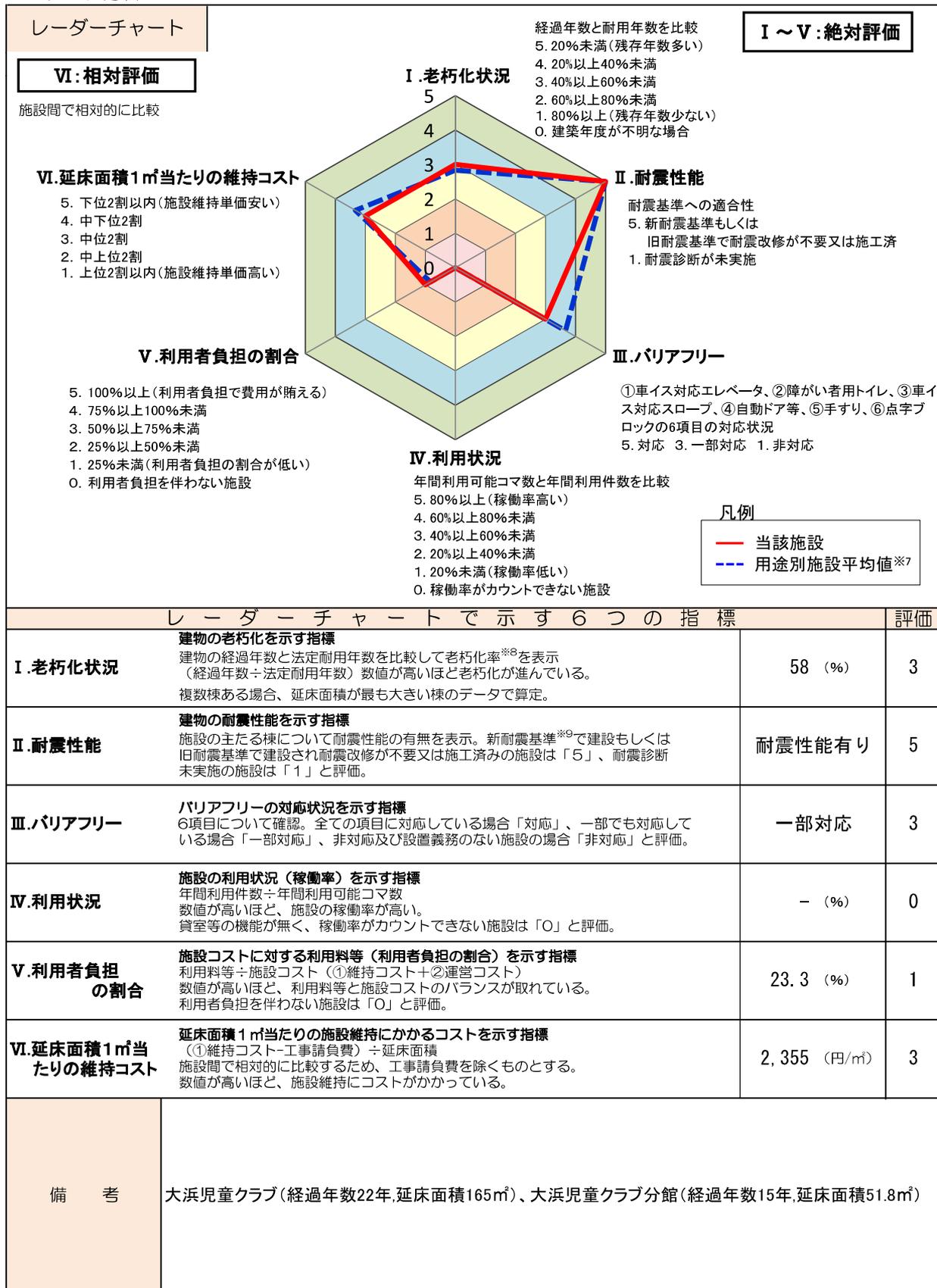
構成棟	大浜児童クラブ、大浜児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成12～平成19年度	経過年数	15～22年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	217 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態	
	52人	62人	71人	62人	指定管理(混合)	
施設コスト ^{*2} (R1～R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		
	収 入	利用料等	3,449,258	支 出	人件費	-
		国 費	-		修繕料	87,315
		県 費	-		火災保険料	11,701
		その他	16,548		維持管理委託料	411,969
		市費(一般財源)	11,337,800		敷地借上料	-
	合 計		14,803,606	工事請負費	-	
	施設外観			その他維持費	-	
				小 計	510,985	
				②運営コスト	人件費	12,574,673
				光熱水費	409,471	
				その他委託料	-	
				その他運営費(事業費)	1,308,477	
				小 計	14,292,621	
				合 計(①+②)	14,803,606	
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}			
	238,768 円/人		68,219 円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}			
55,633 円/人		156 円/人				
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。
 ※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。
 ※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数
 ※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積
 ※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数
 ※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	棚尾児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	59
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 春日町1丁目2番地 (棚尾小学校区)	敷地面積	568 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	棚尾児童クラブ、棚尾児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56～平成21年度	経過年数	13～41年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	368 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	110人	113人	127人	117人	指定管理(混合)		
施設コスト ^{*2} (R1～R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	6,971,622	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	221,214	
		県 費	-		①維持コスト	火災保険料	11,868
		その他	84		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)	22,969,416		敷地借上料	832,669	
	合 計		29,941,122	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	1,065,751		
				②運営コスト	人件費	25,415,867	
			光熱水費	814,146			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	2,645,358			
			小 計	28,875,371			
			合 計(①+②)	29,941,122			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	255,907円/人		81,362円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
59,587円/人		316円/人					
特記事項							

^{*1} 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

^{*2} 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

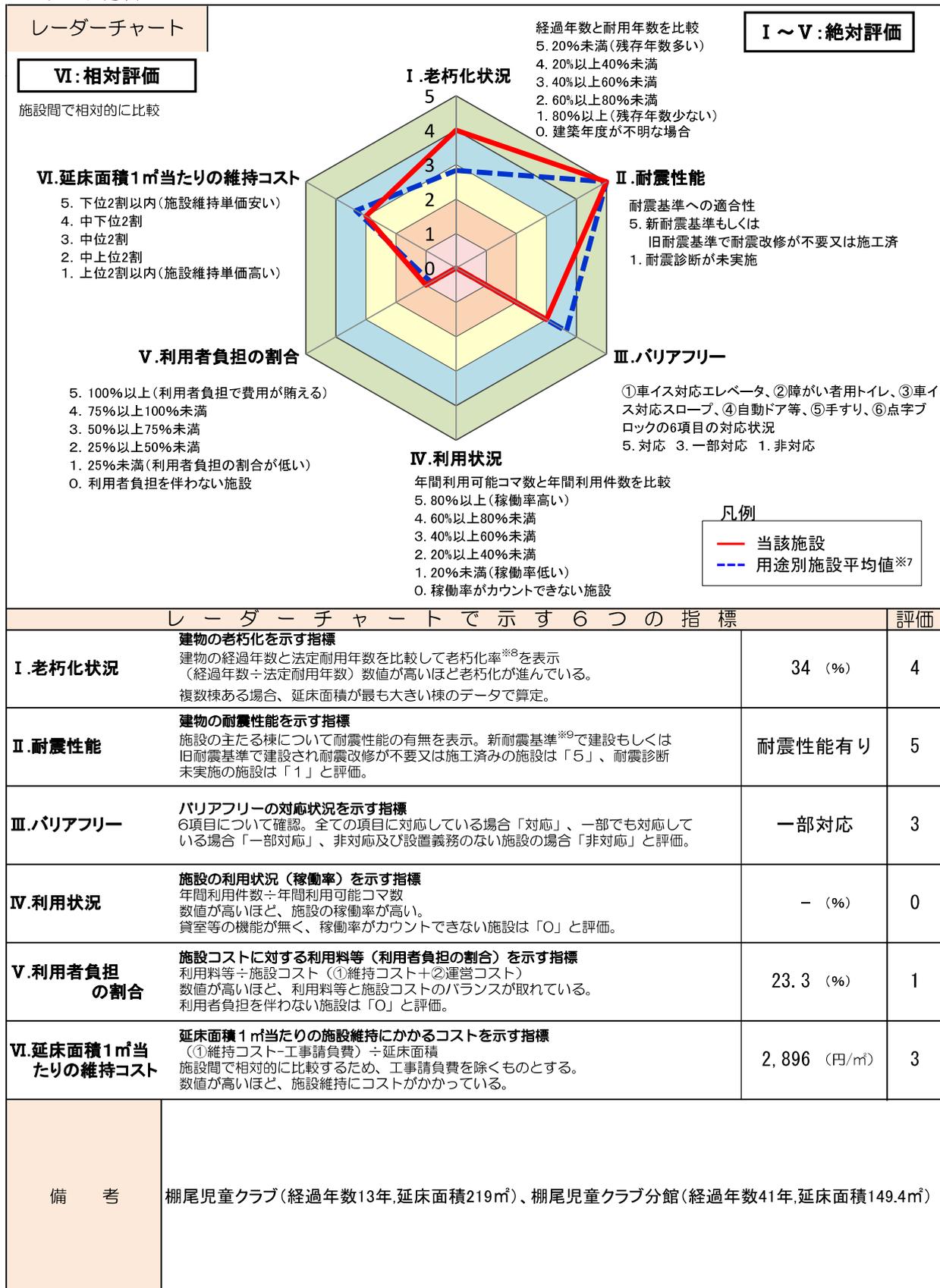
^{*3} 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

^{*4} 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

^{*5} 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

^{*6} 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	日進児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	60
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 日進町4丁目1番地	敷地面積	676 m ²
	(日進小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

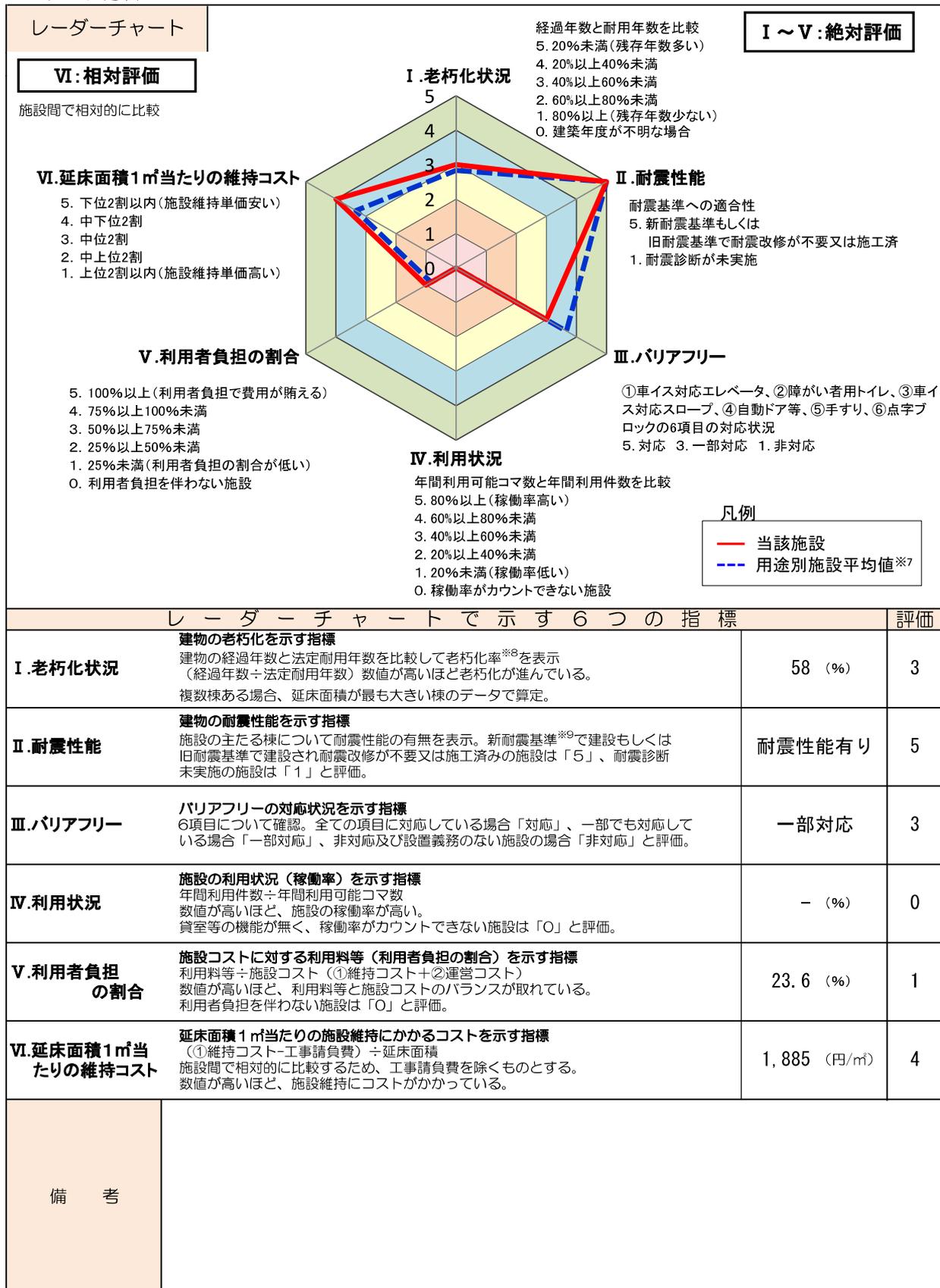
構成棟	日進児童クラブ				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成12年度	経過年数	22年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	161 m ²	うち借面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	48人	48人	46人	47人	指定管理(混合)		
施設コスト ^{*2} (R1~R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	2,032,419	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	51,449	
		県 費	-		①維持コスト	火災保険料	9,234
		その他	17,643		維持管理委託料	242,746	
		市費(一般財源)	6,571,328		敷地借上料	-	
	合 計		8,621,390	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	303,429		
				②運営コスト	人件費	7,309,421	
			光熱水費	237,347			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	771,193			
			小 計	8,317,961			
			合 計(①+②)	8,621,390			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	183,434 円/人		53,549 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
43,243 円/人		90 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。
 ※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。
 ※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数
 ※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積
 ※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数
 ※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	鷺塚児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	61
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町2丁目30番地	敷地面積	837 m ²
	(鷺塚小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	鷺塚児童クラブ(本館)、鷺塚児童クラブ(分館)				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成11～平成20年度	経過年数	14～23年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	209 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態	
	60人	68人	79人	69人	指定管理(混合)	
施設コスト ^{*2} (R1～R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		
	収 入	利用料等	3,253,512	支 出	人件費	-
		国 費	-		修繕料	82,360
		県 費	-		火災保険料	12,083
		その他	6,049		維持管理委託料	388,589
		市費(一般財源)	10,746,667		敷地借上料	-
	合 計		14,006,228	工事請負費	-	
	施設外観			その他維持費	-	
				小 計	483,032	
				②運営コスト	人件費	11,908,717
			光熱水費	379,944		
			その他委託料	-		
			その他運営費(事業費)	1,234,535		
			小 計	13,523,196		
			合 計(①+②)	14,006,228		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}			
	202,989 円/人		67,015 円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}			
47,152 円/人		148 円/人				
特記事項						

^{*1} 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

^{*2} 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

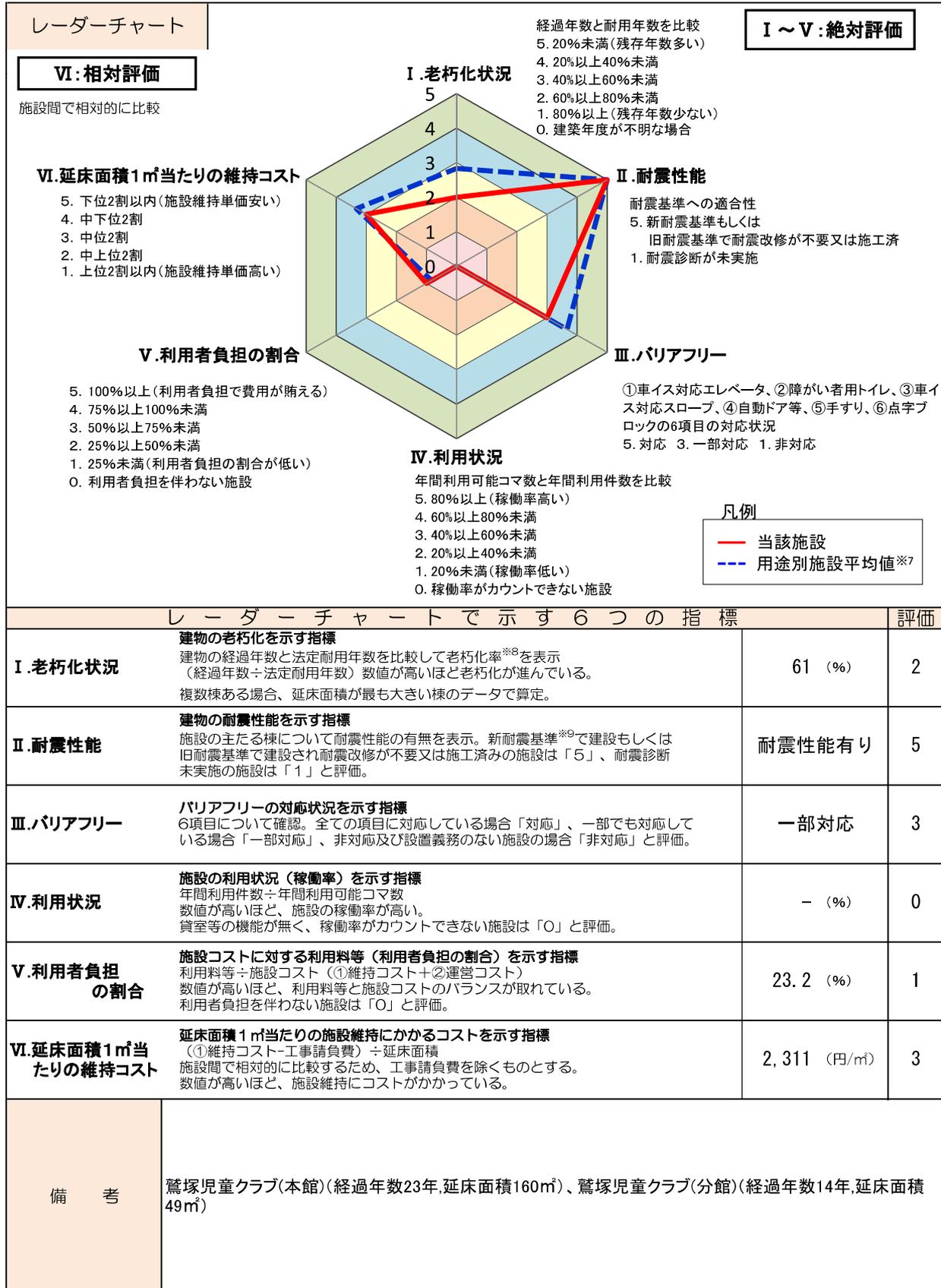
^{*3} 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

^{*4} 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

^{*5} 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

^{*6} 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	西端児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	62
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 上町3丁目1番地 (西端小学校区)	敷地面積	394 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	西端児童クラブ、西端児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成10～平成19年度	経過年数	15～24年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	197 m ²	うち借面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態	
	62人	52人	52人	55人	指定管理(混合)	
施設コスト ^{*2} (R1～R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内訳		金額(円)	内訳		金額(円)
	収入	利用料等	3,258,015	支出	人件費	-
		国費	-		修繕料	82,474
		県費	-		火災保険料	9,653
		その他	39		維持管理委託料	389,127
		市費(一般財源)	10,706,817		敷地借上料	-
	合計		13,964,871	工事請負費	-	
	施設外観			その他維持費	-	
				小計	481,254	
				②運営コスト	人件費	11,866,904
			光熱水費	380,468		
			その他委託料	-		
			その他運営費(事業費)	1,236,245		
			小計	13,483,617		
			合計(①+②)	13,964,871		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}			
	253,907円/人		70,888円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}			
59,237円/人		147円/人				
特記事項						

^{*1} 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

^{*2} 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

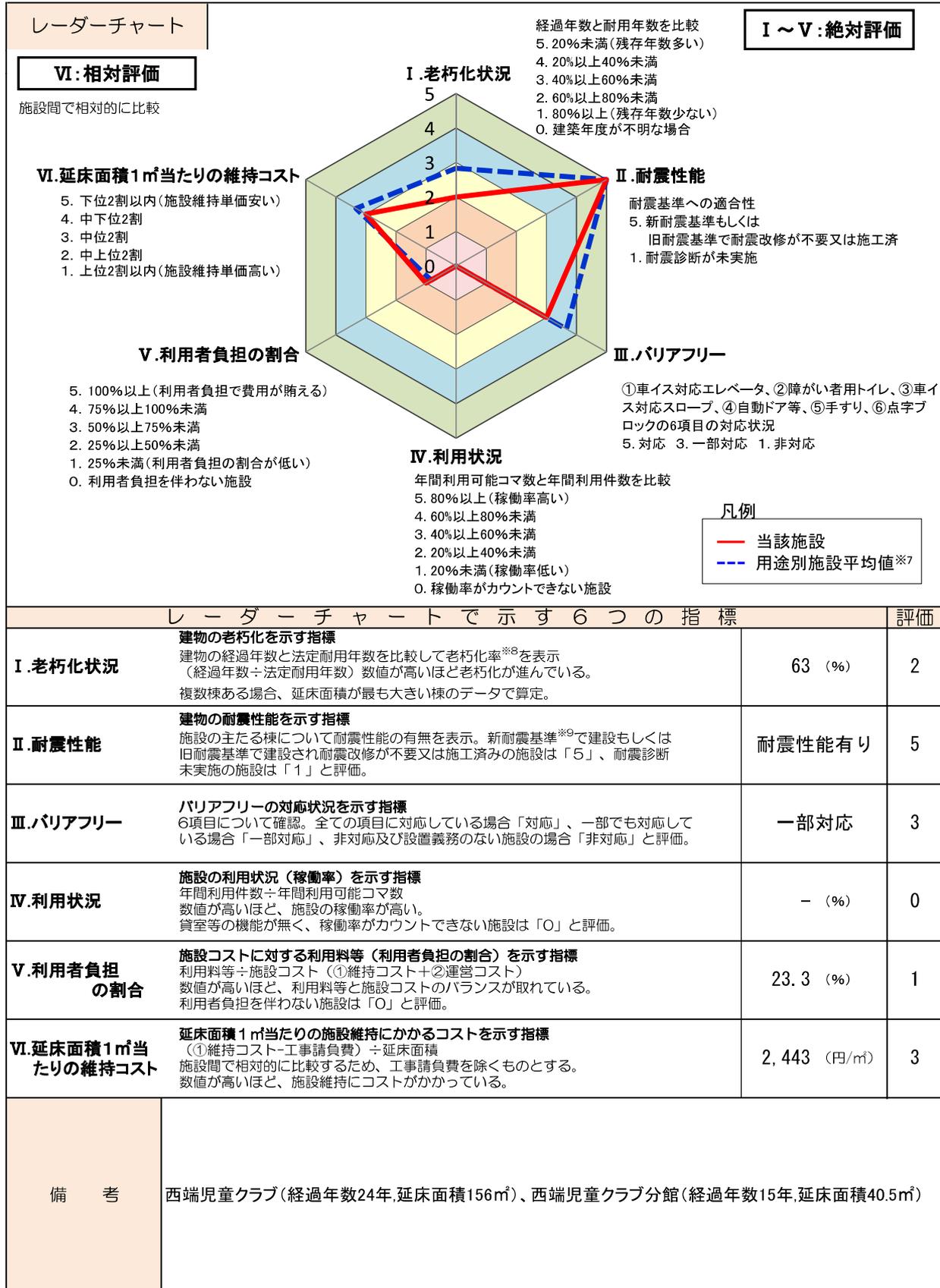
^{*3} 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

^{*4} 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

^{*5} 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

^{*6} 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	棚尾児童センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	棚尾公民館		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	63
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 汐田町2丁目28番地	敷地面積	- m ²
	(棚尾小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	棚尾児童センター				
複合・併設施設	棚尾公民館				
建築年度	平成10年度	経過年数	24年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	369 m ²	うち借用地面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	27,532 人	12,773 人	17,165 人	19,157 人	指定管理(管理料)		
施設コスト ^{*2} (R1~R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	-	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	103,472	
		県 費	-		① 維持コスト	火災保険料	2,574
		その他	19		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)	11,907,971		敷地借上料	-	
	合 計		11,907,990	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	106,046		
				② 運営コスト	人件費	10,643,173	
			光熱水費	-			
			その他委託料	247,526			
			その他運営費(事業費)	911,245			
			小 計	11,801,944			
			合 計(①+②)	11,907,990			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	622 円/人		32,271 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
		- 円/人	164 円/人				
特記事項							

^{*1} 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

^{*2} 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

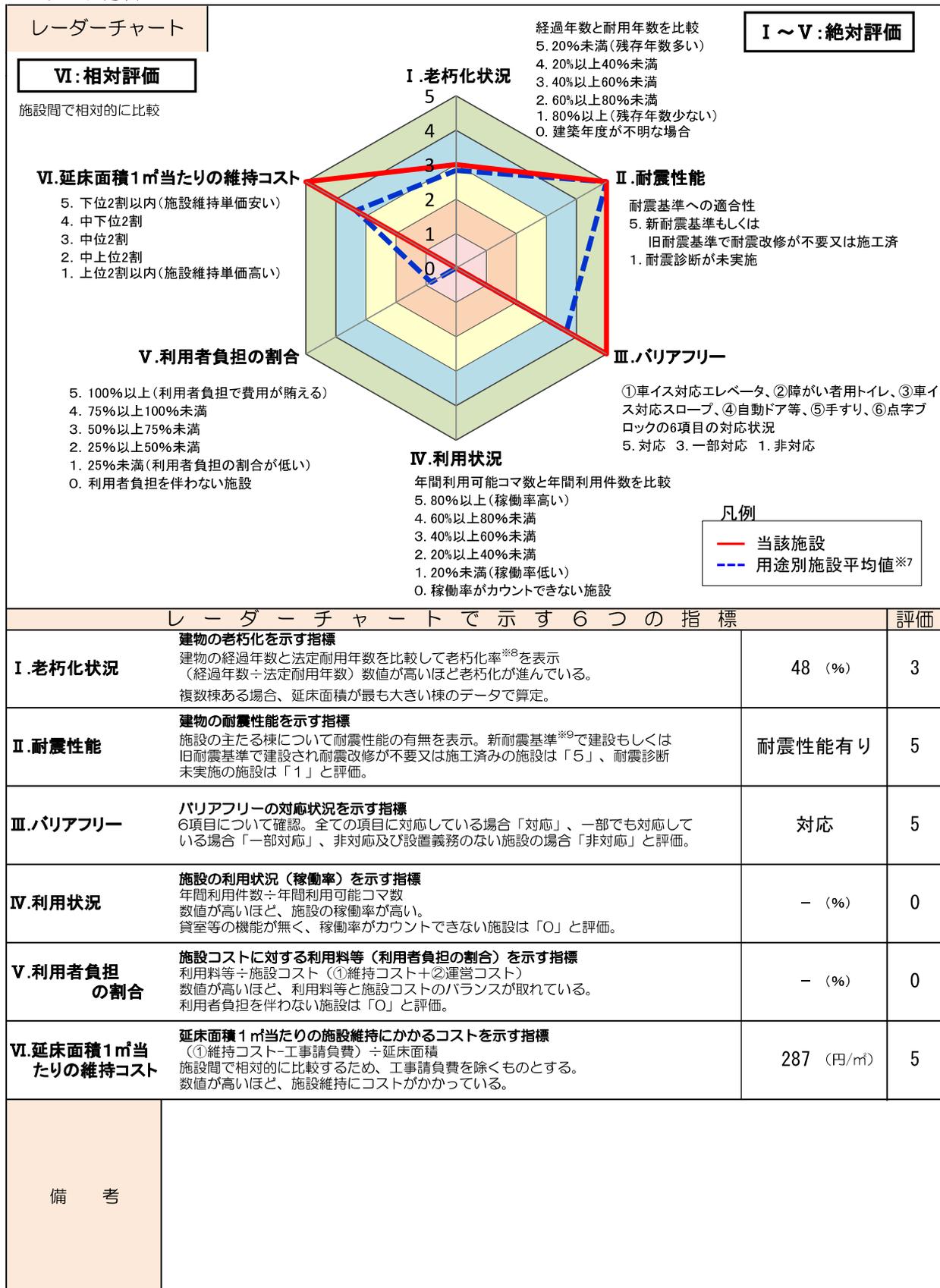
^{*3} 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

^{*4} 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

^{*5} 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

^{*6} 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	東部児童センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	東部市民プラザ		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	64
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 照光町5丁目3番地	敷地面積	- m ²
	(鷺塚小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

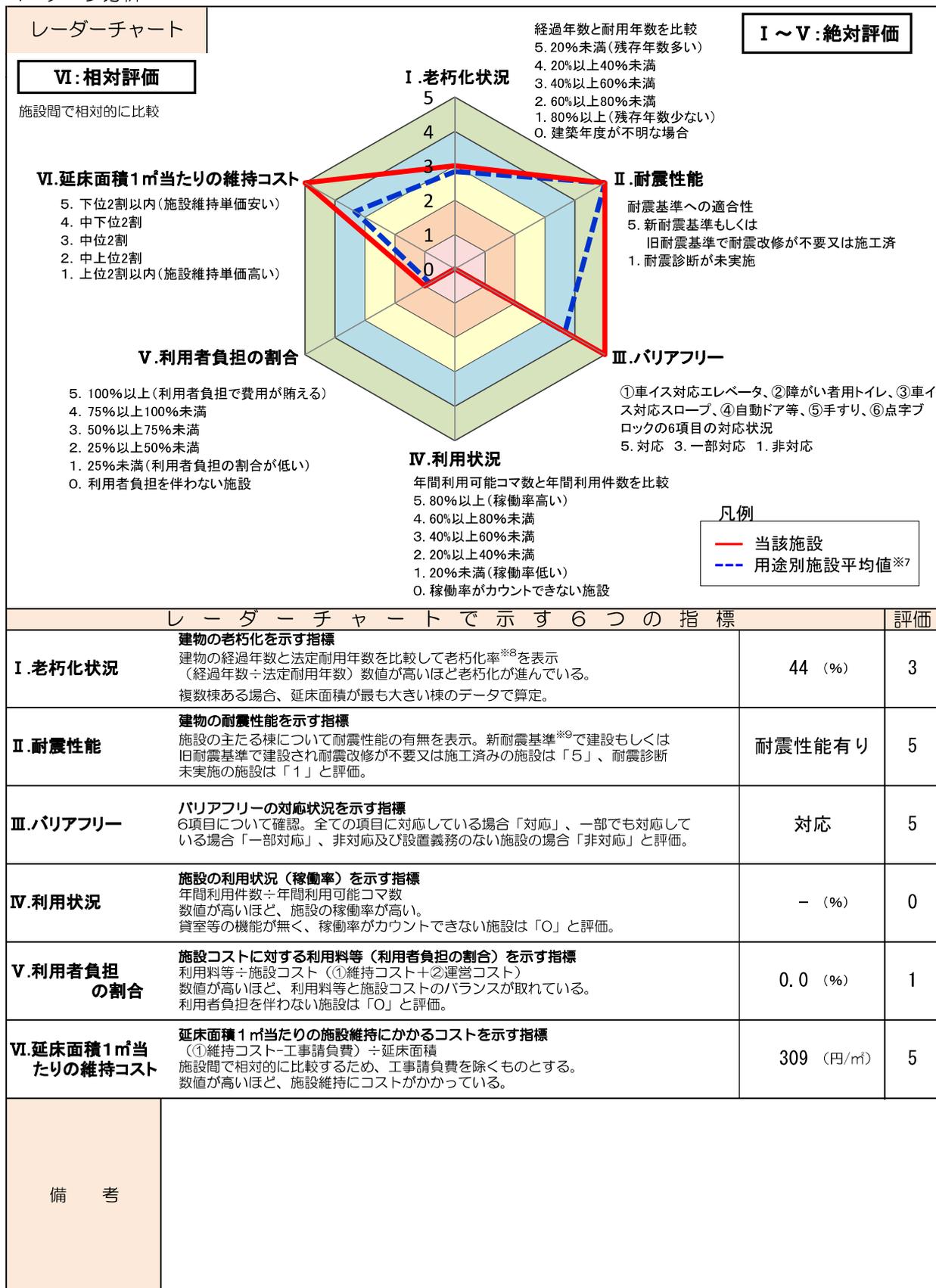
構成棟	東部児童センター				
複合・併設施設	東部市民プラザ、高齢者元気ツグ				
建築年度	平成12年度	経過年数	22年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	314 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	16,732 人	9,731 人	13,722 人	13,395 人	指定管理(管理料)		
施設コスト ^{*2} (R1~R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	500	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	81,287	
		県 費	-		①維持コスト	火災保険料	15,693
		その他	25		維持管理委託料	-	
		市費(一般財源)	7,456,851		敷地借上料	-	
	合 計		7,457,376	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	96,980		
				②運営コスト	人件費	6,108,875	
			光熱水費	-			
			その他委託料	247,526			
			その他運営費(事業費)	1,003,995			
			小 計	7,360,396			
			合 計(①+②)	7,457,376			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	557 円/人		23,750 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
- 円/人		102 円/人					
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。
 ※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。
 ※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数
 ※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積
 ※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数
 ※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	こどもプラザららくるにしばた		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	65
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 三度山町2丁目53番地	敷地面積	1,868 m ²
	(西端小学校区)	うち借地面積	1,013 m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	ららくるにしばた				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成21年度	経過年数	13年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	660 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	28,746人	10,901人	14,942人	18,196人	指定管理(混合)		
施設コスト ^{*2} (R1~R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	161,333	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	63,768	
		県 費	-		①維持コスト	火災保険料	6,476
		その他	35		維持管理委託料	2,910,904	
		市費(一般財源)	13,011,301		敷地借上料	1,041,599	
	合 計		13,172,669	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	4,022,747		
				②運営コスト	人件費	8,069,222	
			光熱水費	-			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	1,080,700			
			小 計	9,149,922			
			合 計(①+②)	13,172,669			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	724円/人		19,959円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
9円/人		179円/人					
特記事項							

*1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

*2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

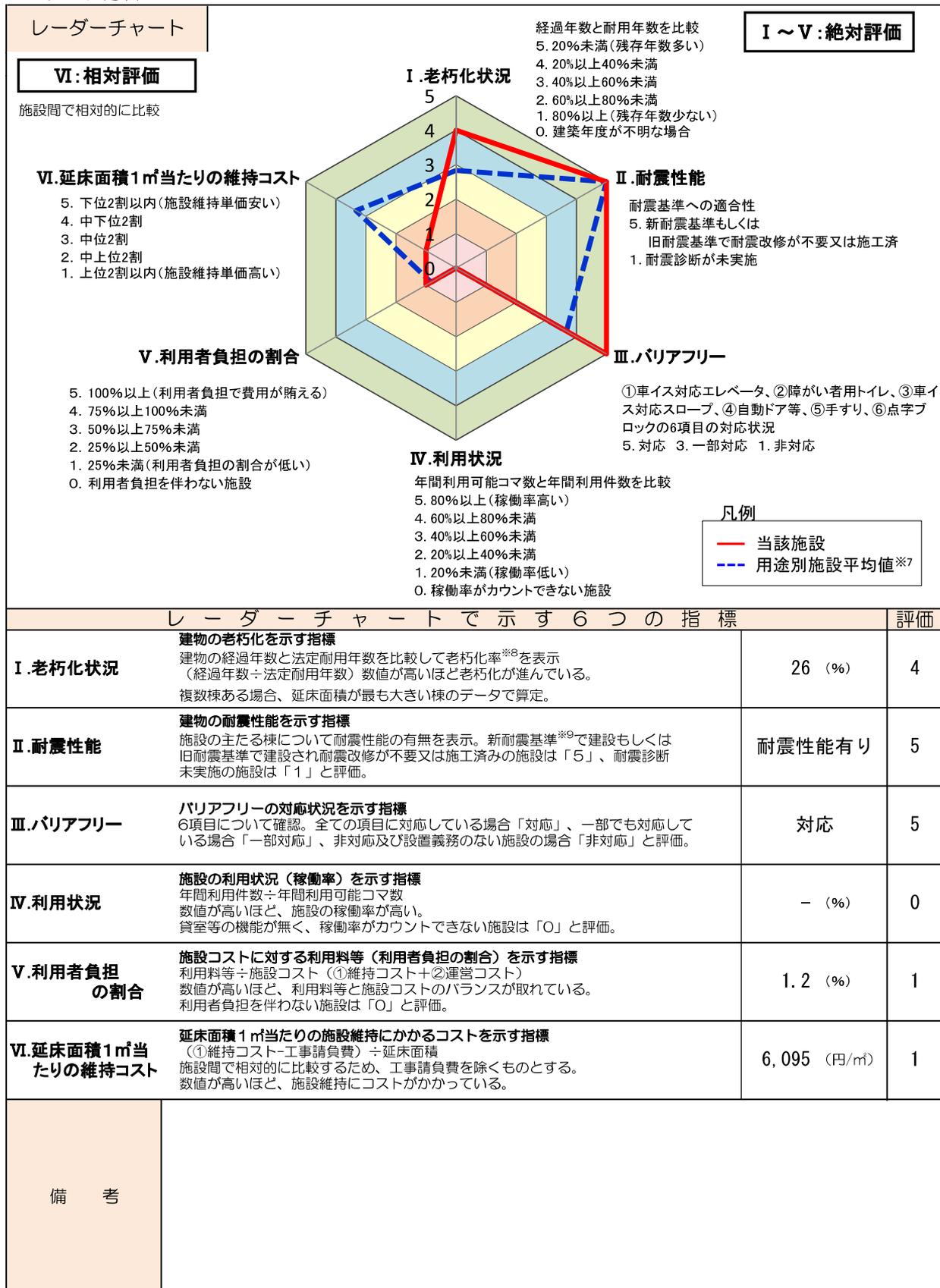
*3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

*4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

*5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

*6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	こどもプラザこころっしんかわ		
従たる施設の場合、主たる施設名	へきなん福祉センターあいくる		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	66
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地	敷地面積	- m ²
	(新川小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	こころっしんかわ				
複合・併設施設	へきなん福祉センターあいくる、市民活動センター、心身障害者福祉センター				
建築年度	平成25年度	経過年数	9年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	548 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態		
	35,971 人	11,132 人	16,337 人	21,147 人	指定管理(管理料)		
施設コスト ^{*2} (R1~R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	1,933	支 出	人件費	-	
		国 費	-		修繕料	85,269	
		県 費	-		① 維持コスト	火災保険料	3,620
		その他	338		維持管理委託料	64,459	
		市費(一般財源)	13,793,758		敷地借上料	-	
	合 計		13,796,029	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	153,348		
				② 運営コスト	人件費	12,935,837	
			光熱水費	-			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	706,844			
			小 計	13,642,681			
			合 計(①+②)	13,796,029			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}				
	652 円/人		25,175 円/m ²				
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}				
- 円/人		190 円/人					
特記事項							

^{*1} 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

^{*2} 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

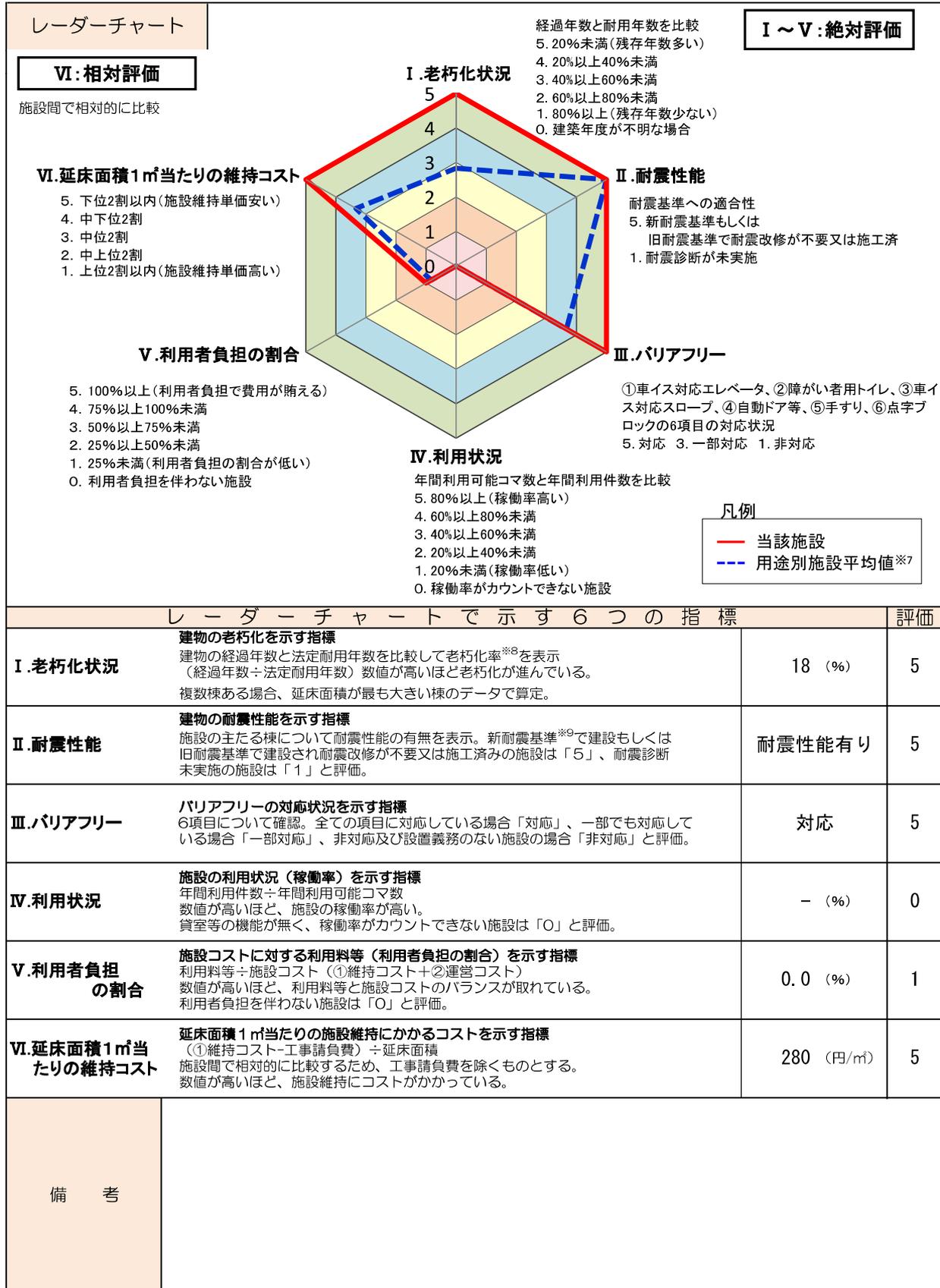
^{*3} 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

^{*4} 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

^{*5} 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

^{*6} 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和4年度
------	-------

施設名	にじの学園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	児童福祉施設	施設番号	67
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部局	福祉課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 宮町4丁目1番地2	敷地面積	1,366 m ²
	(大浜小学校区)	うち借地面積	215 m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

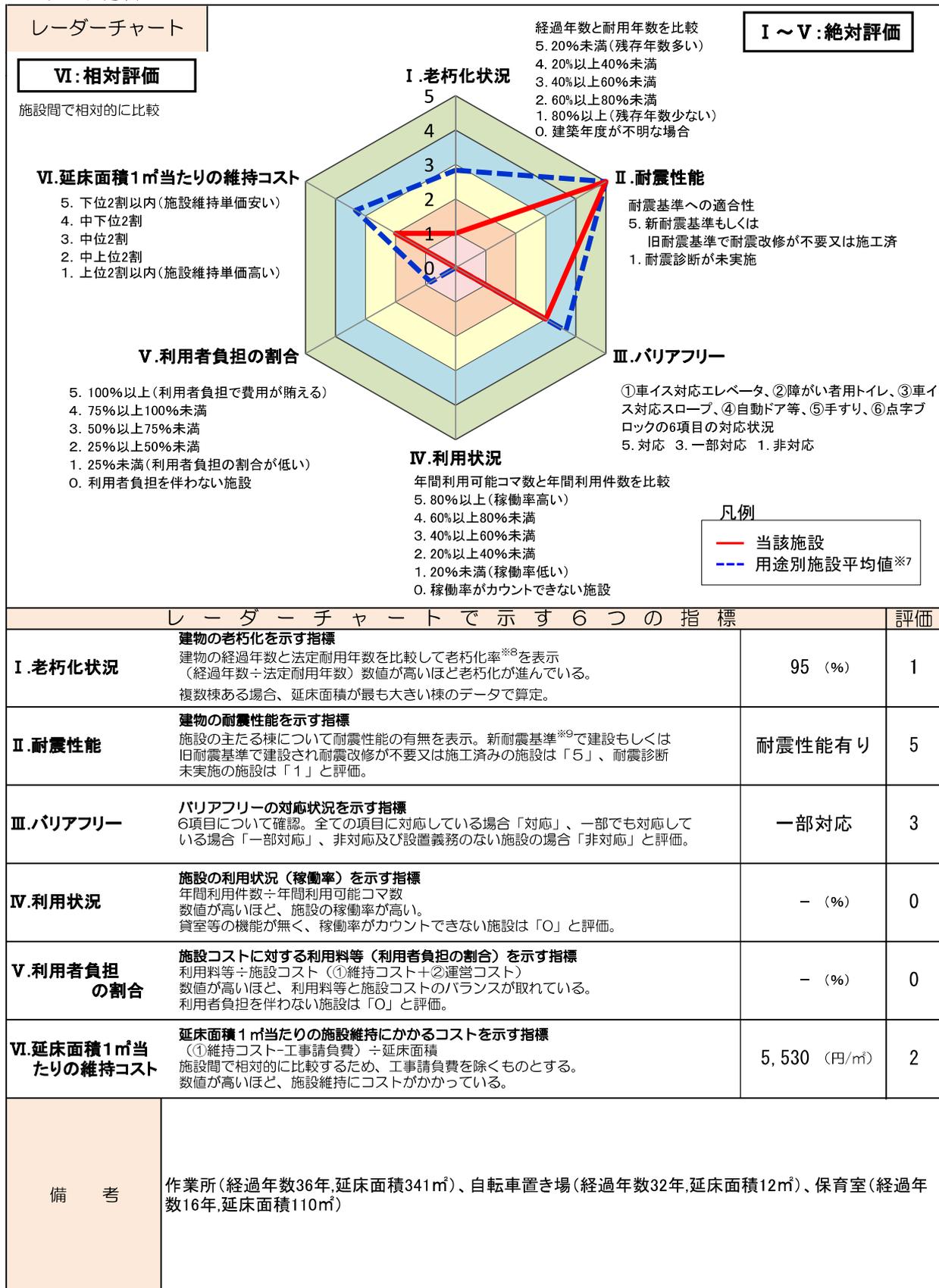
構成棟	作業所、自転車置き場、保育室				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和61～平成18年度	経過年数	16～36年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	463 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{*1}	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均利用者数	管理形態	
	24人	18人	17人	20人	直営	
施設コスト ^{*2} (R1～R3年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する経費	内 訳		金額(円)	内 訳		金額(円)
	収 入	利用料等	-	支 出	人件費	-
		国費	-		修繕料	635,080
		県費	-		火災保険料	11,112
		その他	-		維持管理委託料	1,701,062
		市費(一般財源)	41,393,321		敷地借上料	213,201
	合計		41,393,321	工事請負費	-	
	施設外観			その他維持費	-	
				小計	2,560,455	
				②運営コスト	人件費	28,697,586
			光熱水費	956,141		
			その他委託料	6,565,673		
			その他運営費(事業費)	2,613,466		
			小計	38,832,866		
			合計(①+②)	41,393,321		
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{*3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{*4}			
	2,069,666円/人		89,402円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{*5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{*6}			
		-円/人	569円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。
 ※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。
 ※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数
 ※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積
 ※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数
 ※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和3年度4月1日現在の72,765人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。